

光栄の森

2020年5月 毎月1日発行 第141号
発行者 光栄プロテック 中川

5月に向けて

代表取締役 三田雅憲

今年の4月は入園・入学・入社式というものが、中止になったり、ネット配信のような形となりました。人生の大切な節目にあたりこのような状況になったことその人々にとって辛く大変であったと存じます。

又、春の桜の花見はもちろん全国のお祭りや催事という催事はほぼ中止となりました。新型コロナウイルスが世界中にパンデミック〈流行爆発〉を起こし、経済活動や医療活動、もっと言えば教育活動にも多大な影響を及ぼしております。

経済活動では収入売上が激減して家賃や人件費・レンタル費等の支出が支払われずに店や会社を畳んだりするところが増加しています。

又、学生やフリーランスの仕事場である飲食やサービス業も同様で学生の中には普段の生活ができなくなっている者もおられるようです。その親も経済的に大変になっており学業に支障が来る生徒さんも増加しているようです。

医療現場においても日々コロナウイルスのリスクと闘い、昼夜患者と向き合う医療従事者がたくさんおられます。そのような人々から見たらまだまだ当社はありがたい状況であると思うとともに、気を引き締めていかねば明日はわが身であるとも思います。

当社としても売り上げの減少や先行きの不透明さから国の緊急融資を受けて備える予定です。社員の皆も不要な支出の低減、節約（不要なクーラーなどの電気や電灯を消す。水道の出しっぱなしに注意する。使えるダンボールやパンチの再利用による産廃の低減。ガソリンやLPガスの節約、シンナーや塗料のムダ、材料のムダを無くす、備品の破損）などの協力に全工場力を合わせて取り組んでもらいたく思います。又、営業活動に伴う大阪府・千葉県以外の東京都内や県外への訪問は極力止めること。現場も同様です。こういう時期だからできることも徹底して進めて下さい。ブースや乾燥炉の手入れ、工場内外の整理・整頓・清掃、道具の手入れ、車やトラックの掃除、塗料在庫の整理、梱包材の再利用、日頃できない技術の習得、その他やれることはまだまだあります。コロナウイルスに負けないように会社もかじ取りしていきます。皆様も同じ気持ちで頑張りましょう。